

■ 施工手順

1. 下地状態の確認

- ① 塗り床に浮き、剥がれ、ひび割れがある場合は、その部分を含め周囲数分の皮膜を剥離し、段差を「アースタック」で平滑にして、完全に硬化・乾燥させる。
- ② 塗り床そのものの強度が弱い場合、塗り床を全て剥離、除去する。
- ③ 油分などの汚れがある場合は、洗剤などで汚れを取り除き、乾燥させる。ウレタン系接着剤「プラゾールUF」または「プラゾールUF-1」でテスト張りをを行い、24時間後、下地に着かない状態で接着剤が剥がれる場合は、サンダー等で下地を目荒らしする。

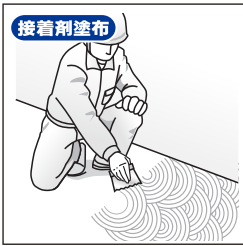
2. 床材の張り付け

・直張り工法

- ① 「プラゾールUF」または「プラゾールUF-1」を下地に塗布し、所定のオープンタイムをとる。
- ② 床材を張り付け、圧着可能時間内にローラー等を掛け、床材と接着剤を十分に馴染ませる。
- ③ 床材張り付け後、24時間程度は極力人通りを避けると共に、1週間程度は直射日光や急激な空調の使用などを避け、換気をよくして養生する。



パテ処理



接着剤塗布



床材張り付け



ローラー掛け

※備考

- (1) 床材及び接着剤は、極力前日までに搬入し、施工環境に慣らしておいてください。
- (2) ビニル床シートなどを施工する場合は、施工に先立ち、巻癖、伸縮を取り除くため、仮敷きを行ってください。タイル系の床材は、反りなどが生じないように、平滑な場所で保管してください。
- (3) 冬季低温時(5℃以下)の施工は、ジェットヒーターで採暖を取るなどして施工を行ってください。
- (4) 乾燥モルタル下地などと比べ全く吸い込みがないため、接着剤塗布後のオープンタイムや養生期間は、長めにとるようにしてください。
- (5) 施工後、急激な温度変化が生じると、床材が伸縮し、目透きや突き上がり、反りが発生し易いのでご注意ください。
- (6) 床材張り付け後、床材に適した継ぎ目処理などを行ってください。

■ 使用商品 (施工㎡数)

● アースタック

商品番号	荷姿	施工㎡数の目安
293-701	5kg(×4)	5㎡/5kg (1mm厚)



● プラゾールUF-1

商品番号	荷姿	施工㎡数の目安
286-302	16kg	43㎡/16kg



■ 注意事項

- ① 塗り床等の皮膜に、接着を阻害する成分が含まれている場合がありますので、必ずテスト張りにてご確認ください。
- ② 「プラゾールUF」「プラゾールUF-1」を使用する際は、火気・換気に十分注意してください。
- ③ 凹凸のある塗り床下地の場合は、事前に床用パテ「アースコート60」と、施工する床材および接着剤で試験施工を行い、適性を確認された上で本施工してください。また、ウレタン系塗り床等皮膜に柔軟性のある塗り床は、パテにヒビ割れが生じることがありますので、施工は避けてください。
- ④ ウレタン系等、柔軟な塗り床下地の上にコンポジションビニル床タイルなど硬質で脆い床材を施工すると、床材にひび割れ等が生じることがありますので、施工は避けてください。
- ⑤ 塗り床に浮き、剥がれ、ひび割れがある場合、下地の強度不足、湿気の影響、下地が動いているなど、下地そのものに原因があることもありますのでご注意ください。
- ⑥ 床材の種類によっては、接着しにくいものもありますので、事前に試験施工して確認された上で本施工を行ってください。
- ⑦ 使用に際しては、各製品の使用方法、注意事項などを必ずお読みいただき、十分にご理解頂いた上でご使用ください。尚、製品の取り扱いに関する詳細が必要な場合は、安全データシート(SDS)をご参照ください。